

2. 安全で人と地球に やさしい都市づくり

地球的視野に立った環境保全対策に取り組むとともに、快適さとうるおいに満ちた環境共生型の生活環境を整備します。また、さまざまな災害から市民生活を守り、安心して暮らせるための環境づくりや基盤整備を進めます。

人と地球にやさしい環境都市

(1) 環境共生型社会の創造

市民、事業者、行政がそれぞれの役割分担のもと、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会づくりを進めます。

(2) 自然環境の保全

自然環境保全地区の指定など自然環境の保護と利用に関する総合的な対策を推進します。

(3) 公害防止対策の充実

的確な環境の状況把握に努め発生源に対する規制や指導を強化するとともに、公害の未然防止と環境への負荷の低減を図ります。

(4) 廃棄物の減量化と収集処理の充実

ごみの適正処理や分別による再資源化などに対応しうる廃棄物処理施設の整備を行うとともに、市民、事業者、行政が協力して、生産、流通、消費、処理の各段階でごみの減量化・再資源化に取り組みます。

(5) 公園・緑地の保全と整備

千歳川に代表される“きれいな水”や緑を取り入れたうるおいのある都市環境づくりを進めます。また、各地区の特性を生かした魅力ある公園や憩いの場の整備を進めます。

(6) 生活環境衛生の向上

市民一人ひとりの環境美化意識の高揚を図り、地域が一体となった環境美化活動の推進に努めます。また、愛がん動物の適正な飼育に向けて啓発や指導の充実を図ります。



自然環境保全地区 / 良好な自然環境が保たれている場所を貴重な財産として残すため、「千歳市自然環境保全条例」に基づき指定した地域。



(4) 防犯対策の充実

防犯灯や街路灯の整備と維持管理に努めるとともに市民自らの防犯意識を啓発し、関係機関と連携した地域ぐるみの防犯活動を推進します。

(5) 消防・救急体制の強化

防災拠点としての消防施設や消防装備などの整備、消防団の機能強化など総合的な消防力の整備を図るとともに、救急業務の高度化や救助業務の充実・強化を図ります。

(6) 水道給水の充実

水源開発の促進や浄水施設の整備を進めるとともに、節水対策や配水管の整備などによる漏水の防止と水の有効利用に努めます。また、施設の耐震対策に取り組みます。

(7) 下水道の整備

公共下水道の整備を計画的に進めるとともに、公共下水道区域外における個別合併処理浄化槽による地域下水道整備を促進します。

(8) 基地障害防止対策の推進

航空機の騒音対策、演習場の砲撃音対策や河川汚濁の防止、電波障害やC経路の対策などを進め、市民が安心して快適に暮らせる生活環境の整備を図ります。

(9) 住宅環境の整備

北国の風土や高齢化などに適応した住環境の優れた住宅づくり、宅地供給を促進するとともに良好な景観づくりを促します。

(10) 快適、安全な冬環境の創出

児童や高齢者・障害者などにも配慮し市民と行政が連携した効果的な除排雪体制を確立するとともに、融雪施設の整備を推進します。

(11) エネルギー供給の安定確保

電気・ガスなど主要エネルギーの安定供給を促進するほか、太陽光をはじめ地熱・リサイクル型エネルギーなど環境にやさしい新エネルギーの導入・普及促進に努めます。

(7) 霊園などの整備

公園的イメージをもつ千歳霊園の建設を推進するとともに既存墓地の環境整備を図ります。

安全で安心して暮らせる快適都市

(1) 防災対策の充実

防災通信施設の整備や資機材の備蓄、町内会等の自主防災組織の育成などを図るとともに、市民参加による総合防災訓練などを通じて防災に関する意識と理解を深めます。

(2) 自然災害防止対策の推進

千歳川水系の環境保全に留意した河川維持管理対策を強化するほか、内水排水対策や山地における土砂流出防止対策などを推進します。

(3) 交通安全の推進

交通安全思想の普及や交通マナーの向上を促すとともに、特に児童や高齢者・障害者などの交通弱者に配慮した交通安全施設の整備などを進めます。

C経路 / 自衛隊の装軌車両が走行可能な、陸上自衛隊東千歳駐屯地と北海道大演習場を結ぶ道路の通称名。

リサイクル型エネルギー / 新エネルギーの一部に分類され、廃棄物発電やごみ処理廃熱などのエネルギーの新たな供給形態。